

HUGコミ

第20号

2014年7月

hug.com

もパートナーズ（東村山市秋津町）／TEL&FAX:050-3510-4587／E-Mail info@npohug.com／URL http://npohug.com

～ご近所で子育てのお手伝いをしてみませんか？～

ファミサポの提供会員さんを募集します



東村山市ファミリー・サポート・センターでは、H26年度の提供会員（育児のお手伝いをしたい方）を募集します。提供会員になるためには、養成講習会に参加していただく必要があります。養成講習会は年に1度の開催となりますので、ぜひ、この機会にご参加ください。



★ファミリー・サポート・センターってなに？

育児の支援ができる方と、してほしい方が会員となって、地域の中で子育てを支え合う「たすけあい」の活動です。支援ができる方を「提供会員」といい、有償ボランティアのお気持ちで、活動をしていただいています。

★どんなお手伝いをするの？

保育所や児童クラブなどへの送迎や、保護者の方がご不在になる場合のお預かりなどがあります。乳児から小学6年生までのお子さんへの育児援助が対象となり、家事のお手伝いをすることはありません。

★どんな人が提供会員になっているの？

昨年までに養成講習会を受講された、市内在住の方々です。20代～70代までの会員さんが、ご活躍されています。お仕事を退職された方や、ご自身も育児中の方、パートやご趣味などの合間に活動されている方もいらっしゃいます。小さいお子さんやお孫さんをお持ちの方も、お預かりしたお子さんと兄弟のようにして過ごされたりしています。

★頻繁な援助活動は難しいのですが…

活動できる日の、できる時間に、できることを、で構いません。無理のない範囲で、地域の子育て支援のお手伝いをお願いします。

■養成講習会へのお申込みは8月4日（月）から受け付けます■

講習会は、9月中旬より、ファミリー・サポート・センターがある「東村山市地域福祉センター」内にて行います。全9日間の講座となり、参加費は無料です。詳しくは8月1日号の市報にてご確認ください。

興味はあるけど今年はまだ活動が難しいかな…という方は、来年以降にぜひ、ご参加いただくと嬉しいです。



『わたしの山小屋日記』
～動物たちとの森の暮らし～
春夏秋冬全4巻
今泉 吉晴 著
論創社
各1400円（税別）

真夜中、懐中電灯片手に山道を1キロほど歩いてみつけた溪流で、黒いイワナを捕えるカワネズミ、その姿を小さな彗星にたとえ心ときめかせる著者。モグラ、野ねずみ、リス、ムササビなど森に住む小さな動物たちを、たぐいまれな好奇心と繊細さで見守り、不思議がり、さらに深く探求していきます。「シー-ton動物記」の訳者でもある著者が、実際に見て知り、感じた山小屋の四季、一編一編がそおと手のひらに包み込んで繰り返しながら読んでいたほど愛おしいです。朝日新聞PR版に掲載されていたコラムが美しい写真入りで本になりました。（ま）



『クリオネのしっぽ』
長崎 夏海 著
講談社
1300円（税別）

私は物語を読み始めると、読み終わるまではそわそわしておちつかなくなるので、最近の小説を読むのを封印していたのですが、がまんできなくて読んじゃいました。それも一気に！

夏海さんの紡ぐ世界は、なつかしい香りの風が吹いていて、すっかりおばさんの私も現代中学生の物語の中に入っていきます。どんな子にもそれぞれの事情と世界がある。そして、大事なことがある。けっして器用ではないけど、現実を受け入れて、自分の宝物をしっかり守ろうとしている主人公たちの誇り高い姿に、思い切りエールを送りながら読みました。おとなとして辛いシーンもあるけど、それでも立ち続ける姿にほれほれ。

さてさてこれ以上のネタバレは、読む楽しみが減ってしまうので、ここまで。あとは読んでのお楽しみ。（れ）

HUGスタッフの おすすめ eBOOK



『セラピスト』
最相 葉月 著
新潮社
1800円（税別）

「言葉によって因果関係をつなぎ、物語を作ることでは人は安住する。しかし、振り回され、身動きが取れなくなるのもまた言葉であり、物語である。」セラピストの中井久夫さんの言葉です。文中でもセラピストとクライアントの言葉と沈黙のやり取りにたびたび感動させられます。最相葉月さんは自分の病をさらけ出し、自らがクライアント、セラピストになることで、心理療法への理解を深め本書を書き進めていきます。ものすごく深く、丁寧に。また、心の喜びは、苦痛の本源に自らが立ち向かうことでしか得られないという事実を、私たちに教えてくれます。（さ）

雑記報

梅雨あけて夏本番も間近、子ども達にとっては楽しい夏休みも母親にとっては、「三食作るのか」「なんていうお悩みも。しかし、子ども達がおかあさんの作った「ごはんを「おいしい」と言ってくれてくれる時期は、意外に短いのかも。親で「ごはんを楽しく食べる」そんな「当り前の幸せ」に感謝したいものです。HUGのメンバーは「食」に興味のある人が多く、食べ物のお話は事欠きません。美味しいお店、安全な食品、「麴」「酵母」など体によい食べ物・特に最近はおうちやんちの「ごはん」がブームです。興味のある方はぜひ「3・11」からプロジェクト情報にご注目ください。「食べる」は「生きる」。おいしい「ごはん」にはみんなの笑顔が集まりますね。最近気になるのは、日本という国がいつのまにやら「戦争できる国」にする国に!? 大きな曲角を曲がりつつあるのに、TVをつければ騒がしいだけの番組ばかりで「無関心でいてね」というメッセージにすら聞こえます。そもそも「平和憲法」はどうやってできたの？なぜ今の解釈が強引な形で変えられようとしているの？関心を持たなくちゃいけないのはまさに「今」なのかも。どこから手をつけていいかわからないという方にオススメなのは小宮英一著、よりみちバンセシリーズ「日本という国」。明治、戦後と日本がどのように歩んできたか、中学生から読めるようわかりやすく書かれています。ただただ平和を心から祈るばかりです。今年度の「HUGコミ」は制作方法を一新。各事業から担当が集まって作り直しました。職員、ボランティア活動者、理事…ふだんコミュニケーションが取りにくいメンバーで場を共有する試みです。そして計画通り7月に発行できる運びとなりました！実は、この3年は年に1号しか発行できていませんでした（泣）。次号は12月に発行予定です。会員内のコミュニケーションも充実も引き続き課題です。HUGでは「赤ちゃん抱っこ隊」などのボランティアを常に募集しています。興味のある方はぜひ声をかけてください。

トコトコ通信

トコトコ通信が出来るまで

毎月10日頃、編集長から内容周知のメールが届きます。

2014年4月現在、13名のトコトコ通信は、東村山市在住の子育てママに作られています。

年何回か打ち合わせ、毎号のページ担当者や編集長を決めます。学校行事や出産、仕事の都合を考慮して割りふる。

担当者の原稿作成、作成した内容のチェック作業が、スタッフ作業が、それぞれ。

その打ち込んだ情報にミスがないか、誤字脱字がないかなどをお互いにチェック担当もつきます。

…正直に告白すると発行日の週間前くらいから、メールBOX開けるの(ほせこわいっ)

※打ち込んだ情報にミスがないか、誤字脱字がないかなどをお互いにチェック担当もつきます。

トコトコのメールが「あーっ、あーっ」と

HP <http://ameblo.jp/tokotoko240/>

HP <http://ameblo.jp/tokotoko240/>

提供会員さんに聞いてみました

実際にお子さんをお預かりしている提供会員さんのお話です。養成講習会を受講してみようかと迷われている方、ご参考にしてください。

地域

地域に知り合いがたくさんいて、外に出れば「おーい！ さっちゃん！」「あ、〇〇ちゃん」と声を掛け合い、手を振り合うことができる……。これは地域で暮らす私の理想のひとつです。ファミリーサポートの提供会員になったのは、その機会をひとつずつでも増やすためでした。

その効果はばっちり。ママバックを担ぎ、赤ちゃんを抱っこして歩いているだけで、最近では声を掛け合わなくなった人に声をかけられ、その度にファミサポの宣伝をして「赤ちゃんいいな」と羨ましがられます。

我が家でも〇〇ちゃんのお迎えの日は、家の中がとても平和です。その心地よさに虜になっている我が家の面々（夫、長女 20 歳、次女 18 歳、三女 15 歳）は、可能な限り予定を合わせ、行ける人みんなでお迎えに行きます。こんなことならもっとはやく登録しておけばよかったな。（「さっちゃん」さん）

子ども

子ども二人が中学生になり子育てが一段落した機会に、何かできることがあればと思い、ファミリーサポートの講習会に参加しました。活動を始めて二ヶ月程たちますが、その折々に、自分の子ども達が、お預かりしたお子さんくらいに小さかった頃を思い起こします。娘も思い出すようで、「あの頃、私たちはこうだったよ」とその頃の気持ちを話してくれるようになりました。

私自身の子育てを振り返ると、「叱って、せかして、求めてばかり」の十数年だったと思います。そのことで、実は窮屈な思いをしていたんだと、娘に聞かされた時は落ちこみました。ですが、この活動を始めなければ、そういうことを娘が感じていたことに気付くこともなかったのではと考えると、きっかけができたことに感謝しています。

これからも、お預かりするお子さんの成長も見守りつつ、私の子どもたちが巣立つその時まで、一緒に時間を大切に、共に成長していけたらと思います。（Sさん）

ぷくぷくダイアリー 「子どもイスのおはなし」

今回から始まったこのコーナーは、“のぐちちょう子育てひろばぷくぷく”のスタッフが、日々のひろばでの出来事や「こんないいことあるよ～」という耳より情報などをちょこっとお伝えするコーナーです。

さて、1回目の今回はぷくぷくでオープン以来、お昼ご飯の時間やお絵かきの時に大活躍している“子どもイス”のご紹介です。

このイス、秋津町のごみ処理施設秋水園内にある“とんぼ工房”の製品です。木製のパズルやドールハウスなど展示＆販売しているものもありますが、“子どもイス”は受注生産のみ。作成にも1～2か月かかるそうで、価格は2000円（アメニティ基金のため消費税は無）です。皆さんが粗大ごみとして出した木製家具などを解体して加工し部材から作っているの、その時により材質や作成期間も変わるのだそうです。その他に工作キット（有料）があり、自分で工作を体験することもできます（市報で確認してね）。

お家の家具がガタついて困ったなという時は、とんぼサポーターさんができる範囲で修理して下さるそうですよ。相談してみたいかがでしょう。

とんぼ工房『ギャラリーとんぼ』
【開館】金・土・日・月（祝・祭日除く）
a.m.9:00～p.m.3:30
【問い合わせ】とんぼサポーター 2 (080-5649-3844)

のぐちちょう子育てひろば **ぷくぷく** 東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
(東村山駅西口より徒歩13分、スーパーカネマンさん斜め向かい)

【平成26年度 提供会員養成講習会日程】

日にち	時間	講習項目
9/17 (水)	9:00～10:00 10:00～12:00	オリエンテーション 子どものくらしとケア
9/19 (金)	9:00～12:00	保育の心 子どもの事故と安全
9/22 (月)	10:00～12:00 13:00～16:00	子どもの心の発達とその問題① 応急処置と救急対応(普通救命講習)
9/25 (木)	10:00～12:00	子どもの栄養と食生活
9/30 (火)	10:00～12:00	小児看護の基礎知識
10/3 (金)	10:00～12:00	子どもの遊び
10/7 (火)	10:00～12:00	子どもの心の発達とその問題②
10/9 (木)	10:00～12:00	身体の発達と病気
10/10 (金)	9:00～12:00	援助活動を円滑に進めるために 事業説明会及び入会・会員登録

※日程・内容につきましては変更が生じることもありますので、ご承知おきください

お申込み・お問合せは

お電話か、直接センターにお越しください
※お申込みは8月4日から受け付けます

**東村山市
ファミリー・サポート・センター**
〒189-0022
東村山市野口町 1-25-15
東村山市地域福祉センター2F
東村山市子育て総合支援センター
ころころの森内
Tel 393-5137

お問い合わせも
お気軽に♪